

# 永明中学校だより

令和8年4月6日 1号 文責 矢崎

永明中学校区（米沢小、永明小、永明中）めざすこども像 「相手に生きる私」

永明中学校 学校教育目標 「響き合い 磨き合い 誠実に生きる」

**響き合い**：多様な価値観を包み込み、互いに敬い合う心 「敬愛」

**磨き合い**：内なる自分や友と切磋琢磨し、更に輝く自分 「努力」

**誠実に生きる**：自分の心と向き合い、一所懸命に生きるという永中に引き継がれてきている精神 「誠実」

## ご入学・ご進級 おめでとうございます。 (入学式学校長式辞より抜粋)

皆さん、今あるこの新校舎は、地域の皆さんをはじめとする多くの方々のお陰で建設が進められている校舎で、小中学生が共に生活をする諏訪地方では唯一の学校です。茅野市教育「縄文のビーナスプラン」の精神、「みんな同じという考え方ではなく、いろいろな考え方や価値観を互いが尊重できる学び」を、2年生、3年生と共に君たち自身で創り上げていく学校なのです。そして本校における学びを通して、皆さんのめざす姿は「相手に生きる私」です。相手に生きる私とは、ただ誰かに何かをしてあげるとか、親や先生、友達に何かをしてもらうということではありません。もっと奥の深い人としての生き方を求めています。小中の友だちや地域の方々と共に活動することを通して、相手の思いに触れ、多様な価値観を認め合い、共に精一杯行動し、君たち自身、まだ知らない素晴らしい才能を花開かせてください。それが「相手に生きる私」です。

さて、皆さんの素晴らしい才能を開花させていくための大切なヒントを4つ言います。

①「知的好奇心をもつ事」②「高い志つまり目標をもつ事」③「努力を続ける事」④「自分の言葉を大事にする事」です。

この中学校生活すべては皆さんの知りたいという知的好奇心から始まります。本校では、朝読書や調べる学習を大事にしています。

また、本校の中心には、たくさんの知恵が詰まったメディアセンターがあります。知的好奇心を高めることにとても役に立ちます。たくさん利用してください。また、高い志を持ち、努力を継続することは、こうなりたいと思う自分自身に近づいていく大事なステップです。加えて、君たちの口から発する言葉は、他人を傷つけることも、優しく温かい気持ちにさせることもできます。自分達の言葉を豊かにし、心を豊かにすることは相手に大事にする心に繋がります。

今日がすべてのスタートです。すべての人にとって、今同じスタートラインに立ちました。

## ～ 地域の皆様 保護者の皆様へ ～

茅野市の国宝「縄文のビーナス」ですが、きらきら光る雲母という鉱物が胸元にちりばめられています。茅野市では、「みんな同じ」から一人ひとりの多様な価値観を包み込み、一人ひとりの子どもがきらきら輝くための教育（縄文のビーナスプラン）を各学校で実施しています。永明中学校区でも、このビーナスプランを受けとめ、めざすこども像を「相手に生きる私」とし、その具体に挑戦しています。そして「相手に生きる私」を実現していくために永明中学校では学校教育目標を上記のように設定し、本日の始業式において全校生徒・教職員で再確認をしました。この学校目標を実現していくことは、まさに予想困難な時代に、一人ひとりが未来の創り手となるために必要な「生きる力」を培っていくということであると考えています。地域の皆様、保護者の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 学校教育目標実現のため 特色ある教育活動の柱「言葉と心を育てる読書・図書館教育」

キーワード： 「情報活用能力」「言語能力」の育成を、小学校と共に一貫教育として推進します。

読書・図書館教育とは、朝読書をすれば良いとか図書館の本をたくさん借りれば良いという事ではありません。私たちが日々活用する「言葉」に今一度着目し、各授業のみならず学校生活全般で、自分が発する言葉の意味や使われた背景、言葉に込められた思いなど、をより豊かに育てていくことは、人としての豊かな生き方や心の温かさに通じるのだと思います。

めざすこども像「相手に生きる私」や「響き合う、磨き合う、誠実に生きる」にも繋がってきます。また、図書館を軸として、情報活用力を学び、探究力を高めていきます。各教科学習、総合的な学習の時間やその発表会、調べる学習、人権作文等のコンクール、夏季休業中の新たな探究的な課題などのあらゆる場面で、「情報活用能力」「言語能力」を高めていかれるよう努力して参ります。各ご家庭でも、家庭読書の日や新聞を読む機会の確保などにご協力をいただけるとありがたいです。